

## 当社メールアドレスへの不正アクセスの疑いについて

このたび、当社が管理するメールサーバー（Microsoft Exchange Online）を利用するメールアドレスに対し、第三者の不正アクセスと疑われる操作が確認されました。本件により、情報が外部へ漏えいした可能性があります。

漏えいの可能性がある情報は以下のとおりです。

- ・該当1名のメールアドレスに受信されたメール

関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。本件につきましては、すでに個人情報保護委員会へ必要な報告を行っており、外部のセキュリティ専門会社の協力を得ながら、事実関係の確認および必要な対応を進めております。

現在も調査および対応を継続しておりますが、現時点で判明している事実および当社の対応について、以下のとおりご報告いたします。

### 1. 本件の概要

2026年6月8日9時頃、当社メール利用者から「配信不能の通知メールが多数届いている」と情報システム担当者に連絡があり、当該通知メールを確認した結果、いずれも同一のメールアドレス宛に送信されていることが判明しました。メールアドレスは利用者が知らない不明なアドレスで、利用者本人が意図して転送しているものではありませんでした。

### 2. 原因

同じメールアドレスに繰り返し送信されていることから、メールの自動送信機能（ルール、もしくは仕訳ルール）を調査したところ、「受信したメールをすべて社外の不明なメールアドレスへ転送する設定」が登録されていることが確認されました。

当社では、セキュリティ向上のため6月4日以降、社外メールアドレスへの自動転送の設定を管理機能で停止したことで、上記の社外メールアドレスへの転送機能が動作しなくなり、当該転送が失敗し、「配信不能」の通知メールが当該利用者へ送付されるようになったものと判断しております。

### 3. 漏えいの可能性のある情報について

「受信したメールをすべて外部へ転送する」設定が行われていたことから、当該利用者宛に送信されたメールが漏えい対象となる可能性があります。現在調査中ではありますが、

- ・メール送信元のメールアドレス
- ・メールの本文・添付物

が、漏えいまたは漏えいの可能性のある情報となります。

4. 今後の対応前述のように社外メールアドレスへの自動転送機能を停止しており、現在は転送できない状態となっております。社内調査に加え、外部専門機関によるログ分析（フォレンジック調査）を実施予定です。

また、当社の全メール利用者を対象に、メールの自動処理機能（ルールもしくは仕訳ルール）について、見直しを指示し、不審または不要な設定の有無を確認いたします。

さらに、メールによる情報共有のあり方を全社的に見直し、クラウドストレージの活用も含め、安全性を踏まえたコミュニケーション手段の再検討を進めてまいります。

5. 二次被害又はそのおそれの有無及びその内容

2026年6月22日

藤倉コンポジット株式会社

現時点で、当社から流出したデータがインターネット上で公開されたなどの事実は確認されておらず、その不正利用などの二次被害も確認されておりません。万が一、不審なメールの受信等、本件に関連する被害が疑われる事象がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

#### 6. 当社生産活動への影響等

本件による当社生産活動への影響はございません。また、現時点において、重要な業務上の機密情報の流出は確認されておりません。当社では、今回の事態を厳粛に受け止め、委託先との協働体制の強化を含め、情報セキュリティ体制の一層の強化および再発防止に全力で取り組んでまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

personal\_info@fc.fujikura.co.jp